

中津商工会議所BCP（事業継続計画）および参考資料

資料番号	資料名	備考
（１）中津商工会議所BCP（事業継続計画） ※各地会議所にて事前に作成しておくべき資料		
資料①	役職員携行カード	災害発生時の初動動作のポイントをまとめたもの
資料②	緊急時連絡先一覧	行政・業務関連など関係機関の連絡先一覧
資料③	避難ルートマップ	会議所館内の避難経路
資料④	災害対策本部メンバーリスト	職員の業務分担
資料⑤	災害時業務リスト	初動対応の業務分担
資料⑥	救護用品一覧表	
資料⑦	備蓄品リスト	災害関連用品の備蓄のリスト
資料⑧	立ち入り判断基準	会館の立入りの判断基準
資料⑨	帰宅判断基準	危険と照らし合わせた帰宅の判断基準
資料⑩	感染症対策	
（２）参考資料 ※災害発生時にそのまま使用／既に作成済の類似資料で代替可能		
参考①	消火設備の使用方法	
参考②	応急処置の方法	
参考③	負傷者情報一覧表	災害時にそのまま使用
参考④	職員安否情報等確認用リスト（帰宅・滞在・勤務可否含む）	災害時にそのまま使用
参考⑤	正副会頭・議員連絡先リスト（安否・事業所状況確認用）	災害時にそのまま使用 ※議員名簿
参考⑥	事務所被害報告シート	災害時にそのまま使用
参考⑦	被害情報確認シート	災害時にそのまま使用
参考⑧	社外被災者受け入れリスト	災害時にそのまま使用
参考⑨	訓練の種類	
参考⑩	自所地域のリスクの認識	
参考⑪	オフィスの固定対策要領	
参考⑫	水災における事前対策	
参考⑬	国土交通省出典：大規模水災害に関するタイムラインの流れ	

【資料②】緊急時連絡先一覧

■社会インフラ

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
電気	九州電力	総務	0120-653-501	中津市中央町1丁目2-5		
水道	中津市上下水道部	総務	0979-24-1382	中津市中央町2丁目3番1号		
ガス	機工コア中津ガス支店	総務	0979-23-5000	中津市大字中殿560-1		
電話	NTT西日本ビジネスフロント(株)	総務	0120-969-144	中津市天神町85-1 NTT中津ビル別館3F		
IT/通信	NTT西日本ビジネスフロント(株)	総務	0120-969-144	中津市天神町85-1 NTT中津ビル別館3F		

■交通機関、道路

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
鉄道 (JR)	中津駅		0979-22-5361	中津市大字島田219-2		
道路	中津土木事務所		0979-22-2110	中津市中央町1丁目5番16号		

■消防、警察、自治体

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
消防	中津市消防本部	総務	0979-22-0001	中津市上宮永364		
警察	中津警察署	総務	0979-22-2131	中津市中央町1丁目2-10		
市役所	中津市役所	総務	0979-22-1111	中津市豊田町14-3		

■近隣医療機関

項目	名称	診療科	連絡先	所在地	URL	備考
病院	中津市民病院		0979-22-2480	中津市大字下池永173番地		

■近隣宿泊施設

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
ホテル	グランプラザ中津ホテル		0979-24-7111	中津市東本町1-2		

■業務関連

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
日商	日本商工会議所		03-3283-7823	東京都千代田区丸の内3-2-2		
幹事 商工会議所	大分商工会議所		097-536-3131	大分市長浜町3丁目15-19		

■金融機関

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
銀行	大分銀行中津支店		0979-24-2211	中津市豊田町2-10		
銀行	福岡銀行中津支店		0979-22-1450	中津市枝町1700-9		
銀行	西日本シティ銀行中津支店		0979-22-1550	中津市新博多町1728-3		
銀行	豊和銀行中津支店		0979-23-3223	中津市中殿町3-27-1		
信用金庫	大分みらい信用金庫中津中央支店		0979-23-1120	中津市豊田町2-453-1		
信用組合	大分県信用組合中津支店		0979-22-2233	中津市中央町1-4-3		

■各種連絡先 (設備、システム、物流、損害保険など)

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
設備	不動産防災電設		0979-23-5771	中津市上池永105-1		消防設備 (消火器・火災報知器)
システム	オフィス・ワタナベ		0979-23-5383	中津市永添2110-1		パソコンネットワークシステム
郵便局	中津郵便局		0979-22-0700	中津市中殿字余木503-1-6		

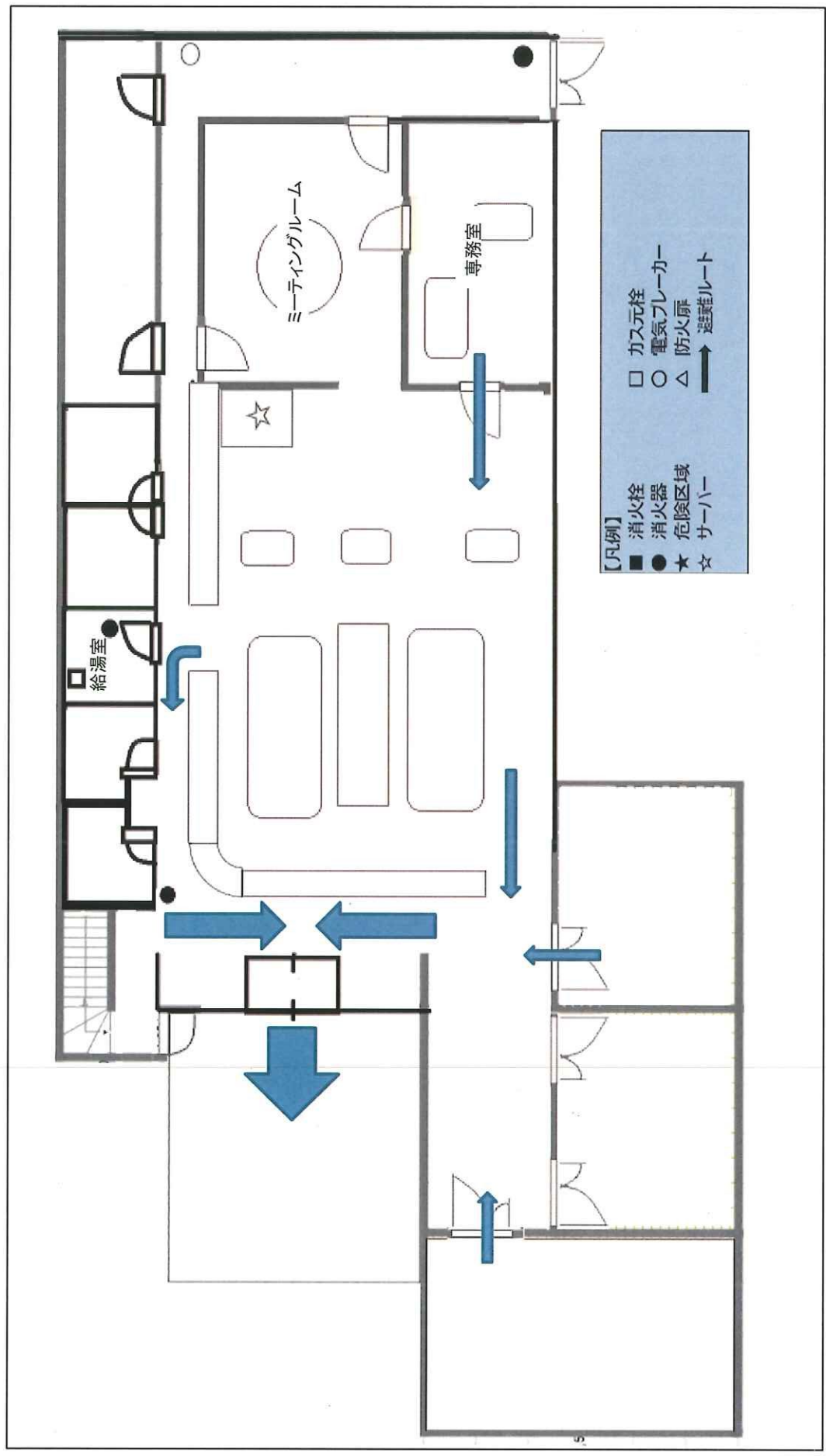
■近隣の避難所

項目	連絡先	所在地	備考
小幡記念図書館		中津市1366番地1 (片瀬町)	
南部小学校		中津市1309番地 (三ノ丁)	
南部公民館		中津市1467番地 (京町)	
中津城公園		中津市1278番地1 (二ノ丁)	

【資料③】避難ルートマップ

避難場所
(集合場所)

中津城公園



【資料④】災害対策本部メンバーリスト

災害対策本部長

※不在時の災害対策本部長代行者

代行者

代行者

代行者

災害対策本部メンバー

氏名

部署・役職

災害発生時の担当業務

勤務時間外の至急参集メンバーリスト

氏名

部署・役職

電話番号(自宅・携帯)

【資料⑥】救護用品一覧表

No.	品目	備蓄量	配置場所	更新		備考
				更新日	次期更新予定日	
1	ガーゼ	なし				近隣の病院で受診
2	包帯	なし				近隣の病院で受診
3	バンソウコウ	2	中津商工会議所 1階			
4	止血帯	なし				近隣の病院で受診
5	三角巾	なし				近隣の病院で受診
6	タオル	5	中津商工会議所 1階			
7	はさみ	3	中津商工会議所 1階			
8	ピンセット	1	中津商工会議所 1階			
9	消毒薬	1	中津商工会議所 1階			
10	傷薬	なし				近隣の病院で受診
11	かぜ薬	なし				近隣の病院で受診
12	解熱剤	なし				近隣の病院で受診
13	やけど薬	なし				近隣の病院で受診
14	湿布薬	なし				近隣の病院で受診
15	ゴム手袋	なし				近隣の病院で受診
16	副木	なし				近隣の病院で受診
17	体温計	1	中津商工会議所 1階			
18	血圧計	なし				近隣の病院で受診
19	AED	なし				近隣の病院に対応依頼
20	担架	なし				近隣の病院に対応依頼

【資料⑦】備蓄品リスト

項目	保管場所	点検月日	補充月日
緊急避難用ナップザック 携帯品			
食料品（乾パン、プルトップ式缶詰）	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
飲料水（1人1日3リットル）	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
救急医薬品セット	準備予定		
災害時対応マニュアル	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
携帯ラジオ（手巻充電式）、予備電池	準備予定		
懐中電灯・予備電池	準備予定		
軍手	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
ヘルメット	準備予定		
防塵マスク	準備予定		
職員名簿（連絡先記載のもの）	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
笛	準備予定		
食料品の備蓄 ※人数×3日分			
乾パン、インスタント食品	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
アルファ化米、缶詰、レトルト食品	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
ビタミン剤など	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
1人1日3リットルの飲料水	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
防災・復旧用品			
防水シート、ビニールシート・テープ	準備予定		
スコップ	中津商工会議所 倉庫		
トランシーバー	中津商工会議所 1階		
照明器具（電池式）、予備電池	準備予定		
のこぎり	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
パール	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
油圧式ジャッキ	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
ペンチ・ハンマー	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
発電機、予備燃料	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
保護・救援用品			
救急箱（医薬品、包帯等）	準備予定		
ヘルメット（避難者・帰宅困難者用）	準備予定		
毛布、寝具 ※避難者、帰宅困難者対応分を含む	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
雨具	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
タオル	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
生活用品、その他			
缶きり、十徳ナイフ	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
卓上コンロ・予備燃料	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
鍋・やかん	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
紙皿、紙コップ、スプーン、はし	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
トイレットペーパー、ウェットティッシュ	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
ゴミ袋、ビニール袋	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
ライター、マッチ	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
紙、鉛筆、油性ペン	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
蓋つきポリバケツ	準備予定		
洗面用具（石鹸）	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	
生理用品	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
簡易トイレ	災害時は会議所からの避難を要するため備蓄しない		
カメラ、予備電池（記録用）	中津商工会議所 1階	令和2年10月26日	

【資料⑧】 立ち入り判断基準

<判断基準> 原則、建物の外観を目視で確認し、以下事象が見られた場合は立ち入り不可とする

■立ち入り不可のケース

No.	確認事項	チェック結果
1	火災が発生している	
2	不均等に沈下している	
3	×状の亀裂が壁面に多数入っている	
4	外観上、明らかに建物が傾いている	
5		
6		
7		

【資料⑨】 帰宅判断基準

<判断基準> 原則、下表のチェック結果をもとに危険がないと考えられる場合に帰宅を認める

■ 収集すべき情報

- ① 行政の指針
- ② 警報の発生状況
- ③ 自宅までの経路の状況（道路や橋梁の通行可否、火災発生エリア、建物崩壊エリア等）
- ④ 自宅までの距離
- ⑤ 日没までの時間
- ⑥ 天候

■ 徒歩で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<帰宅先までの距離> <input type="checkbox"/> 帰宅先までの距離が20km以内か。（2.5km/時で歩行時間約8時間）	
2	<日没時刻> <input type="checkbox"/> 日没までに帰宅できるか。 （参考）震災時の徒歩帰宅の場合の速度の目安は約2.5km/時。	
3	<気候> <input type="checkbox"/> 数時間先の気候（天気・気温）について、警報等は出ていないか。	
4	<帰路の状況> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。 <input type="checkbox"/> 帰路の治安悪化に関する情報はないか。	
5	<帰宅時の装備> <input type="checkbox"/> ヘルメット（あるとベター） <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 歩きやすい靴 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
6		
7		
8		

■ 車で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<帰路の状況> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。	
2	<停電> <input type="checkbox"/> 停電していないか。	
3	<帰宅時の装備> <input type="checkbox"/> 車に燃料は十分にあるか。 <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> その他（水、食糧等）	
4		
5		

【資料⑩】感染症対策

1. 感染症の拡大防止策

手洗いの徹底 マスクの着用	<input type="checkbox"/> 利用者・職員にマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。 <input type="checkbox"/> 消毒備品等を各所に設置し、利用者・職員に手洗いや手指消毒の徹底を周知している。 <input type="checkbox"/> 共用タオル等を使用しない、衣類をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。
ソーシャル ディスタンス	<input type="checkbox"/> 行列整理や床の目印表示等により、混雑を回避している。 <input type="checkbox"/> 座席の工夫など従業員も含めて対人間隔を確保し、大声で会話しないよう周知している。 <input type="checkbox"/> 対面が想定される場所への遮蔽物の設置等で接触機会を低減している。
3密※を 避けた行動 <small>※密閉、密集、密接</small>	<input type="checkbox"/> 3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。 <input type="checkbox"/> 扉や窓を開け、扇風機を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員の休憩室等はできる限り換気を行い、対面で食事・会話をしないようにしている。
施設の 清掃・消毒	<input type="checkbox"/> 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。 <input type="checkbox"/> 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示している。 <input type="checkbox"/> 清掃・消毒・ごみ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底している。
利用者・職員の 体調管理	<input type="checkbox"/> 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている。 <input type="checkbox"/> 体調不良の職員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。 <input type="checkbox"/> 所轄の保健所の確認や来場者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。

【留意点】

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等については、平時より拡大防止を図ることが重要であり、事業を実施していくためには、商工会館・事業所等での感染防止対策の徹底を図る必要がある。中津市が定めるガイドライン等も参考にしつつ、上記のような基本動作については予め徹底しておく。

2. 感染症発生時の対応

時間	優先業務とすべき事項	職員の対応	
発生前 (海外発生フェーズ)	<ul style="list-style-type: none"> 社内における感染防止策の周知徹底 感染流行国への出張禁止 安否確認システムによる連絡先の整備・確認および職員の家族に要介護者がいるか等の属性情報の整理 危機対策本部の設置準備 必要備品（マスク・消毒薬等）の調達 優先業務のランク付け 在宅勤務可能業務の選定 人手不足に備えた業務体制の構築（ジョブローテーション等） 	<<勤務中>> ■ マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■ 安否確認システムの確認への返信	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■ 安否確認システムの確認への返信 ■ 子供・要介護者等、感染が拡大した際の対応の検討
		<<勤務中>> ■ 感染防止対策の徹底 ■ 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ 感染防止策の徹底 ■ 公共交通機関をなるべく避ける ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■ 不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
発生 当日	<ul style="list-style-type: none"> 安否確認システムの発動（役職員の出社体制を指示・確認） 通勤手段の確保（徒歩・自転車・自家用車を使用可能な場合優先する） 危機対策本部の設置（正副会長や役員と連絡をとり、事務局長や経営指導員責任者は参集） 削減候補業務を段階的に縮小、テレワークの指示 レイアウトの変更、時差出勤の指示 	<<勤務中>> ■ 感染防止対策の徹底 ■ 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ 感染防止策の徹底 ■ 公共交通機関をなるべく避ける ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■ 不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。

【参考①】 消火設備の使用法

(1) 大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ。

(2) 消火器の安全栓を抜く。



(3) ホースをはずし火元に向ける。

この事業所の消火器は、『〇〇〇』にあります。



(4) レバーを強く握る。



(5) 放射する。



<参考：横浜市消防局資料から抜粋>

【注意】

天井に炎が到達または天井に燃え移った時点で、消火器による消火活動はできないと判断する。

その場合、速やかに初期消火を中止し避難をはじめるとする。

【参考②】応急処置の方法

＜出典＞総務省消防庁HP「わたしの防災サバイバル手帳」

第②章

おぼえておこう！ 応急手当

身に覚えが

大きな災害が発生して、けがをしてしまった場合、また、自分は無事でも家族やまわりの人がけがをしている場合、どうすればよいのでしょうか。災害時は、みんなのように救急車がかけつけられなくても考えられます。こうした場合にそなえて、少しでも役立つ応急手当の知識を身につけておきましょう。

ケガの 応急手当

1. 切りキズ などによる出血

キズの手当ては、1.出血を止める(止血)、2.細菌の侵入を防ぐ、3.痛みをやわらげる、という3つのことを意識しながら行おう。



応急手当

- 1.出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- 2.患部を清潔に保ち、消毒などを怠る。
- 3.じかに血染みはみられないようにビニール・ゴム手袋を利用する(スピーリーの袋などもよい)。

応急手当

- 1.湯水で患部を冷やすが、いちばんよいが、水が出ないときは、水でぬらした清潔なガーゼやタオルをひんぱんにかえて冷やす。
- 2.水がくれば暖かいようにする。
- 3.清潔なガーゼかきれいな布を当て、包帯をする。



2. やけど

- ※キズ、やけどの場合、やたらに薬塗布を使うのはやめよう。
- ※キズ口に直接、わたやチリ紙を当てないようにしよう。
- ※キズややけどがひどい場合は、病院でみてもらおう。

★骨折のみやめた

- 激しい痛み
- はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、寒気がする
- むわっとみると骨がずれている
- キズ口から骨のほしが出ている

3. 骨折

応急手当

- 1.出血している場合は、その手当てをする。
- 2.前足を当て、痛くない位置で固定する。前足は骨折部分の上下の関節より長くする。
- 3.骨が突き出しているときは、その上に清潔なガーゼか布を当て、シーツなどでくるむ。

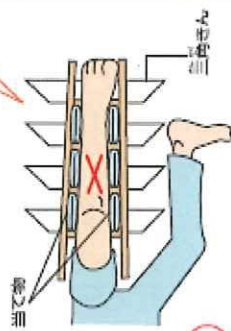


腕



- 1.骨折しているところに前足を当て、その上下を固定する。
- 2.三角きんでつったあと、さらに前腕に固定する。
- 3.三角きんでつたあと、さらに前腕に固定する。

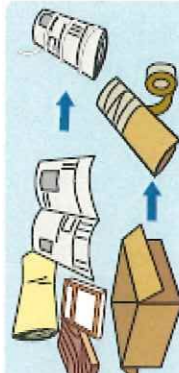
2. 固定のしかた



足

★前足とは？

棒や板、かざ、ステッキ、段ボール、新聞紙、雑誌(かたく折り曲げる)、毛布などで、骨折部分を動かさないように固定できるもの。



- ※骨折したところはほしはしっかり固定して動かさないようにする。
- ※骨がとび出している場合でも、元に戻さない。また、キズ口は洗わないこと。
- ※固定が痛まざると血の流れが悪くなり、危険な場合もあるので注意する。
- その観察のためにも、指先や足先が腫えるようにしておく。

4. ねんざ

- 三角せん1枚を用意し、
たため、中央を足のうら
に当てる。
- 三角せん2枚を用意し、
足の方に戻し、両
足首で交差させ、両
はしをかがかとなな
めにまいた三角せん
の内側に通す。
- 三角せんの内はしを
足首の方に回し、
足首で交差させ、両
はしをかがかとなな
めにまいた三角せん
の内側に通す。
- 三角せんの内はしを
足首の前で結ぶ。

応急手当
1. 痛部は冷やす。
2. くっつきはそえ木の
かわりになるので、
ぬがないでその上
から三角せんや布
などで固定する。

知っていると便利!

★応急担架のつくり方

動けない人を運ぶときは、衣類や毛布を使って、
応急担架をつくりまします。

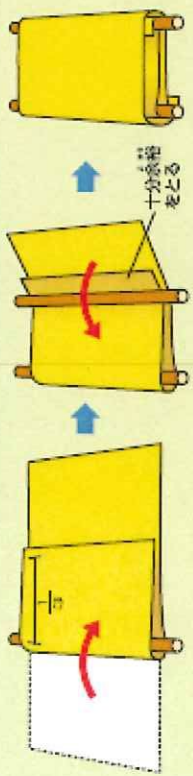
1 上着を活用

図のように2本の棒に上着を通します。



2 毛布を活用

毛布の1/3のところを置いて、毛布を折り返してつくりまします。

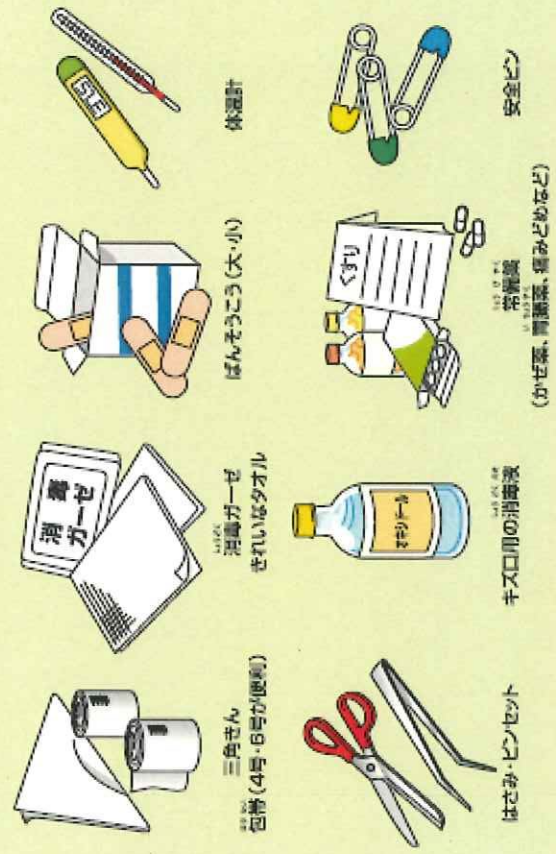


○Xクイズ・応急手当編 大きな災害のときは、小さなけがでもすぐに病院へいく?

救急箱の中身

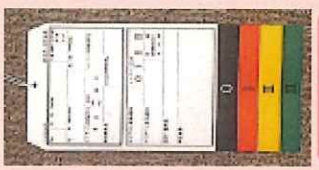
★救急箱の中身の例

- ※ 救急箱はいつも同じ場所に置く。
- ※ 薬やガーゼは使ったらすぐに補充しよう。
- ※ 年1回は点検をして、古くなった薬やガーゼはすてよう。
- ※ 救急箱の中身は必要最低限のものだけにしよう。



読みの 病院がいろいろになってしまつと...

災害が発生して多くのけが人があつると、みんな病院でみてもらおうと考
えます。しかし、病院や医療者さんも被害を受け、満足な手当ができない
ことも考えられます。ただでさえけが人でいっぱい、しかも施設が使えない。
そのとき問題になるのが、本当に手当を必要としている人と、そうでない
人の区別です。災害時に、けがの程度に応じて患者を区分していくことを「ト
リアージ」といいます。トリアージはフランス語で、もともとはコーヒー豆
を選別するときに使われた篩だと言われており、現場ではトリアージ・タ
ップという色のついたツベル(黒、赤、黄、緑)を使って患者の区分をします。
わたしたちも本の知識ばかりではなく、講習会などで体験することによって、
応急手当や救出搬送の知識を身につけ、いざというときに役立てたいもの
です。



トリアージ・タップ

【たえ=x】 地震など大きな災害のときは、病院や医療者さんも被害を受けているので、1分は手当がほしいとも考えら
れます。思いがけのないときは、自分たちで応急手当できるような知識を身につけておこう。

どうなるの 人がたまたまいたら

① 意識があるが調べる

- ★よびかけて返事をするか、★語はできるか、
- ★手足を動かしているか、★痛みに対して反応はあるか、

② 協力してくれる人を求める

★意識の障害があった場合は、すぐその場で救急車をよんでもらったり、大声でまわりの人をよびます。

③ 5つの観察と応急手当

1. 周囲の安全の確認

たおれている場所が安全かどうかを確認し、危険な場所ならば安全な場所に移動する。

3. 救急車をよぶ

まず、周囲の有無を確認し、意識がなければ近くの人に協力を求め、救急車をよぶ。

4. 気道の確保

意識がないときは呼吸器がしやすいよう空気の通り道を確保する。

5. 呼吸の確認

呼吸が止まっていたら、すぐに人工呼吸を行う。



2. 出血の確認

大出血があったらすぐ止血する。

人工呼吸

① 顔と人工呼吸器をつなぎ、鼻をつまみ、鼻の孔をふさぎます。

② 大きな口をきめて喉元に1回おぼけて呼吸を吹き込みます。



※救急車のよびかたは、119-8をよびてください。
※車の中で何かつまっていたら取りのぞき、血液や汚染はかきとる。
※よびかけても返事が無いときは、むやみにおこしたり、おぼれたりしない。
※気道を確保するときは、顔をムリに後ろにそらすはしないようにしよう。
※正しい方法を身につけるために、応急手当の講習会を受けよう。

胸骨圧迫



① 胸の真ん中に手平指は、両腕に力をかけ、胸骨に4cm～5cmの力で圧迫する。1分間100回以上を繰り返します。(30回が1分)



③ 30回圧迫後、人工呼吸を2回行います。この操作を一定の間隔で繰り返します。

AEDが設置したら

① 電源を入れる



② 電圧のレベルに合わせる
体の大きさや年齢によって電圧を調整する。



③ ショックボタンを押す
誰も接触せずに押していないことを確認したら、充電しているショックボタンを押します。



④ 電気ショックの必要があるAEDが電圧を自動的に調整して自動的に充電し、必要に応じて自動的にショックボタンを押します。

⑤ 電源は、AEDの電源スイッチに返します。

※心臓病(心臓病)、AEDの手帳は、緊急時に必要な場合、目印の記号や目印の記号(例えば、緑の記号)が印刷したり、機体と対応するまで開きます。

★夏け暑さによる脱水症状に注意

夏場、注意しなければならぬのは、暑さによる脱水症状です。暑いと人間は汗をかきますが、このとき水分と塩分は体の外へ出てしまいがちです。すると、血液が濃れにくくなってしまい、その分血液を送り出すために心臓に負担がかかります。脱水症状をおこすと、頭痛、ほてり、めまい、体温上昇、だるさなどの症状があらわれ、意識がなくなり危険な状態になることがあります。ムリをして長い時間炎天下で運動をしないことがいちばんですが、次のことに注意しましょう。

- ★外ではぼうしをかぶり、長い時間炎天下で過ごさない。
 - ★外ではほら水をとる。スポーツドリンクは糖分や塩分、ミネラルも同時に補給できます。
 - ★脱水を防ぐために、こまめにムリをしない。
 - ★休息 余り休むに安静をさせ、衣服をゆるめたりして、体を冷やす。
 - ★冷却 エアコンの入っているところ、風通しの良い日かげなどですすしいところで休ませる。
 - ★水分補給 水が飲めるようであれば、少しづつ水を飲ませる。
- ※ほてりがある、意識がぼんやりしないなど、危険な状態であれば救急車をよぼう。

【参考③】負傷者情報一覧表

月 日 時 分 (24時制) 時点

No.	受付日時	所属	負傷者氏名	救護所受付者	負傷箇所	症状	処置	ステータス			備考
								症状	病院への搬送状況	家族への連絡状況	
1						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
2						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
3						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
4						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
5						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
6						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
7						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
8						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
9						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		
10						軽・重・死		不要・未・済(/、:)	不要・未・済(/、:)		

【参考⑥】事務所被害報告シート

確認場所		確認日時	
確認者			

確認項目		確認内容	確認結果	備考
火災		火災発生の有無		
執務室内	床	陥没		
	壁・扉	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
	PC端末	破損、落下、転倒		
	その他			
廊下	床	陥没		
	壁	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
給湯室	ガス	漏れ、ガス臭		
	水道	漏水、水が出るか		
	その他	棚、食器の破損		
トイレ	水道	漏水、水が出るか		
	便器など	破損		
	窓・鏡	ガラス割れ		
建物全体	建物躯体	倒壊の恐れ		
	電力	停電		
	エレベーター	停止・閉じ込め		
	空調	停止		
その他				

【参考⑦】被害情報確認シート（第 報）

作成日時	月	日	作成者 (所属・役職・氏名)	
	時	分		

【地震関連情報】

震度	<input type="checkbox"/> 震度7 <input type="checkbox"/> 震度6強 <input type="checkbox"/> 震度6弱 <input type="checkbox"/> 震度5強 <input type="checkbox"/> その他()		
津波	<input type="checkbox"/> 被害あり	状況	
	<input type="checkbox"/> 被害なし		
余震発生状況	状況		
天候情報	天候: 降水確率:	気温: 日没時間:	
その他	状況(その他特記事項等)		

【会館の周辺状況】

分類	項目	周辺状況	備考/その他地域状況
周辺火災	周辺での火災発生	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (発生地域:) (消火状況:)	
周辺建物	周辺建物の損壊状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (発生地域:) (被害状況:)	
ライフライン	電力	<input type="checkbox"/> 通電 <input type="checkbox"/> 停電 (復旧見込時期:)	
	上水道	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 断水 (復旧見込時期:)	
	下水道	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常 (復旧見込時期:)	
	ガス	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 停止 (復旧見込時期:)	
通信	固定電話	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	携帯電話	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	インターネット	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	その他通信	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
交通(鉄道)	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
交通(道路)		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
その他	原発状況	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 損壊等	
	避難所状況	<input type="checkbox"/> 受け入れ可 <input type="checkbox"/> 受け入れ不可	
	政府・自治体発表		

【参考⑨】訓練の種類

訓練名称	概要	実施目安	実施予定日	実施日
避難訓練	<p>実際に定められた避難経路に沿って避難行動を実施する。</p> <p>※留意点¹ 津波想定区域については、津波避難訓練も併せて実施する。</p> <p>※留意点² 大規模水害の場合は、垂直避難(2階避難、階上避難)と水平避難(避難所避難、高台避難等)の2種類の避難が想定されることに留意する。</p>	年1～2回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
消火訓練	自所内にある消火器の扱い方や消火方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
水防訓練	大規模水害に備えた止水版・土嚢設置等の訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
応急救護訓練	応急手当の方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
救助訓練	下敷きになった人の救助方法や搬送方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
安否確認訓練	導入している安否確認システムの扱い方について訓練を実施する。	年1～2回	()月()日	()月()日
帰宅訓練(徒歩)	交通機関が遮断していることを想定し、徒歩での帰宅を実施する。	年1回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
災害対策本部設置訓練	災害対策本部のレイアウト等を確認し、スムーズに本部が設置できるか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
災害対策本部参集訓練	災害対策本部メンバーの参集ルールに従い、参集できるかどうか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
通信機器操作訓練	自所内に導入している通信機器(衛星電話、IP無線等)が作動状況、操作方法等を確認する。	年1回	()月()日	()月()日
バックアップデータに関する訓練	バックアップしているデータや書類が利用できるか、バックアップ場所から取り出す訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
図上シミュレーション訓練	ある災害シナリオを想定し、決められたルールに従って災害対応ができるか、シミュレーションにて訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日

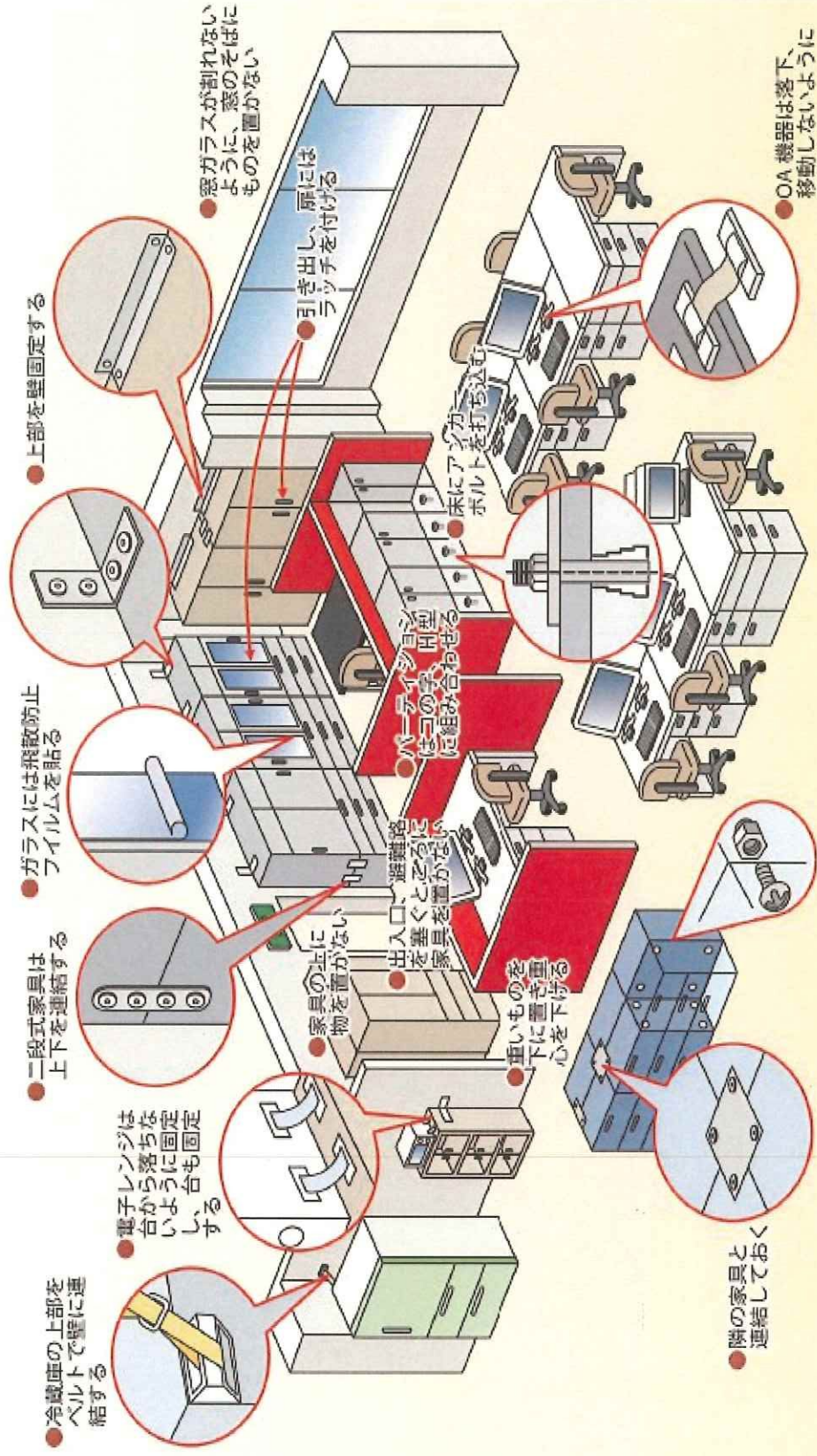
【参考⑩】自所地域のリスクの認識

下記URLのほか、国及び各市町村等が発表しているハザードマップ等を参考に、事前に自所を取り巻くリスクを認識しておきましょう

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査 研究推進本部)	長期評価	http://www.iishin.go.jp/evaluation/longterm_evaluation/summary/	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.i-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
		中津市	中津市防災マップ	https://nakatsubosai.jp/hazardmap/	洪水・土砂・津波
	震度分布を調べる (活断層型地震)	防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.i-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html	東日本大震災の津波 浸水範囲	
水災	主要河川を調べる	国土交通省	川の防災情報	http://www.river.go.jp/kwabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&gameId=01-0401&fldCtlParty=no	スマホ版は位置情報 活用
	想定浸水深を調べる	同上	同上	同上	同上
		同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
火山	火山の危険エリア等を 調べる	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
土砂災害	土砂災害の危険エリア を調べる	同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j010u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	

オフィスの固定対策要領

オフィス家具等の転倒防止対策の例



社団法人日本オフィス家具協会提供

※東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック—室内の地震対策—平成24年7月」より

水災における事前対策

平常時の対策	
<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 建物の修繕計画を策定し、運用している。 ・ 建物全体としての健全な状態を維持するためには、部材の適切な修繕・更新周期に基づいて計画的に工事を行うことが重要である。スレートや液状鉄板の更新周期は概ね30年が目安とされている。 ・ 劣化が顕著になる前の予防保全、修繕費用の把握、工事時期の調整などが可能になる。 ・ 部材の劣化状況によっては、計画より前倒しでの対応が必要となることも想定されるため、予定の前年などに専門業者による点検を行った上で、工事実施時期を判断することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。 □ 外装材のひび割れや穴 □ 外装材や屋外設置物の留め金具の錆や緩み □ 窓やシャッターのがたつき □ 雨漏り箇所 □ 屋上防水の劣化 □ 排水系統の詰まり □ 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転 □ リスクが大きいと考えられる箇所に対策を施している。 □ 間柱・小梁による窓枠周りの補強 □ 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼付け、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置 □ 中柱設置によるシャッターの二面化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え □ スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設 □ 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去 □ 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置 □ 重要データの複製 □ 変電設備の嵩上げ □ 浸水センサー、風速計の設置 <p>・ 被害を最小限に食い止めるためには、ハード面の対策が重要である。</p> <p>・ ハードの対策には時間・コストを要するものが多いため、平常時から計画的に取り組んでおくことが望まれる。</p>
<p>資機材・備蓄品</p> <p>施設・収容品防護用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 土のう □ 止水板 □ 防水シート □ バケツ □ パレット（保管品の嵩上げ用） □ はしご □ 針金 □ ロープ □ ガムテープ □ 排水ポンプ <p>人命安全確保用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ ヘルメット □ 長靴 □ 手袋 □ 雨合羽 □ 懐中電灯 □ ゴムボート □ 担架 □ 拡声器 □ トランシーバー □ 従業員名簿 <p>事業継続・帰宅困難対応</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 非常用発電機 □ 非常食 □ 飲料水 □ 非常用トイレ □ 毛布 □ 簡易間仕切り（プライベート空間の確保） <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 配置図（建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの） □ 危険箇所図（危険箇所が図面に示されたもの） 	<p>行動計画・マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 事前防災行動計画（タイムライン）を策定している。 □ 災害のピークから逆算した時間軸での対策 例：台風最接近時を基準に、-48時間、-24時間、-12時間、-6時間、...、+3時間の実施事項の明確化 □ 対策実行のきっかけの設定 例：気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化 <p>別種</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 大動訓練を実施している。 - 緊急時対応マニュアルどおりに行動ができるか実際に動いてみる（土のうの配置、排水ポンプの起動など）。 □ 図上訓練を実施している。 - 仮想の台風シナリオに基づいて、災害対策本部の情報伝達や意思決定がスムーズに行われるかシミュレーションする。



【対策例】

※MS&ADインターリスク総研発行レポート(2015年8月)より抜粋

＜止水版の設置＞



出典:国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

＜土嚢の設置＞



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

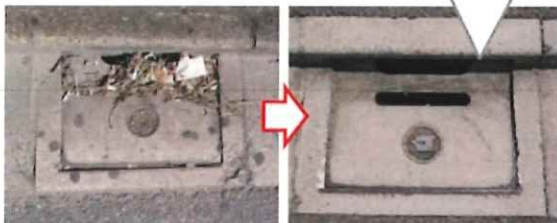
＜水嚢と板による簡易止水版＞



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

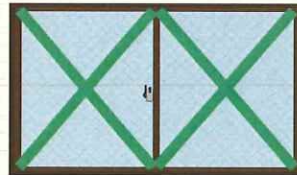
＜排水路の確保＞

落ち葉やごみを取り除き、排水路を確保する。



出典:国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜窓の養生＞



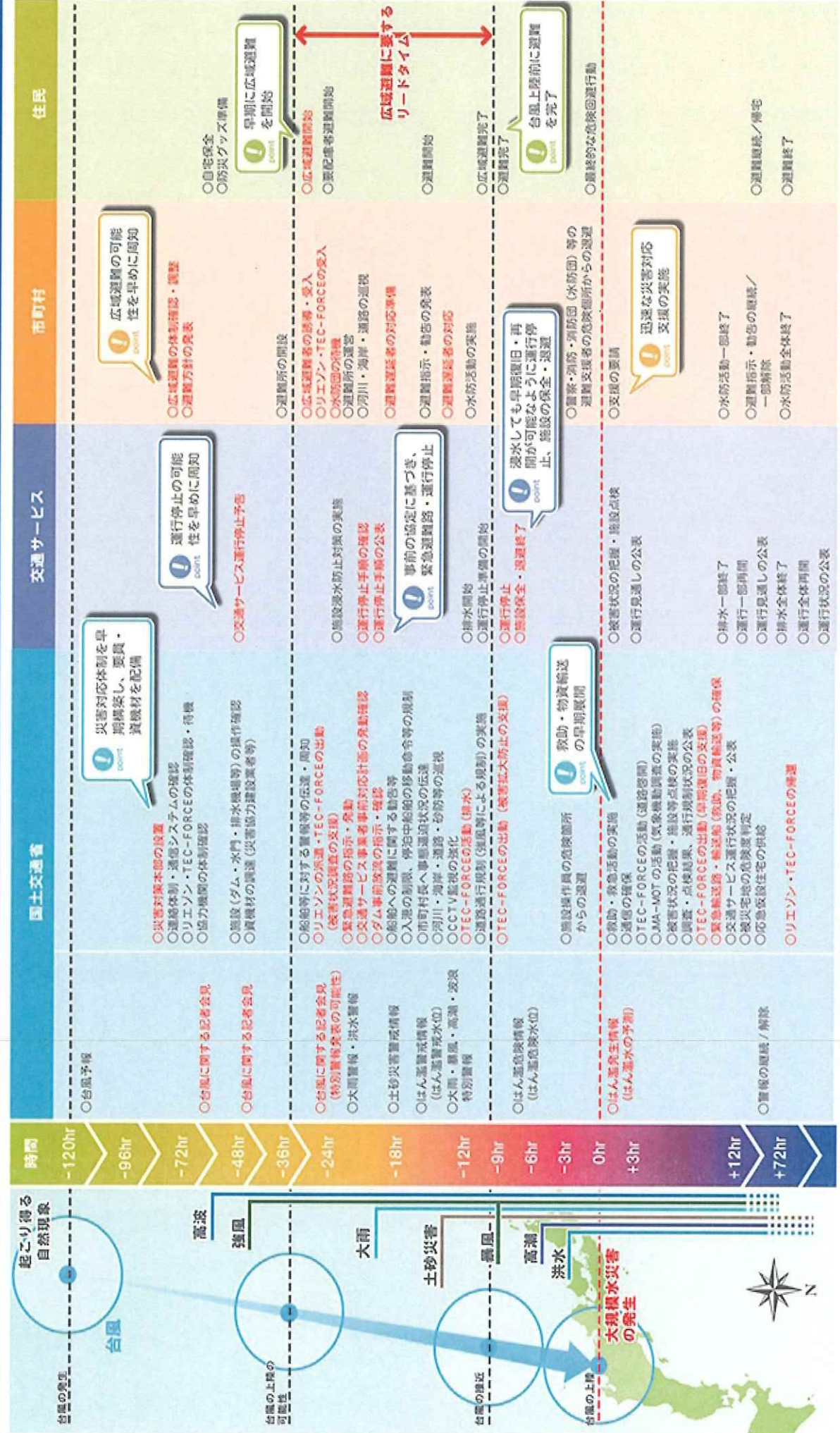
出典:天災インフォ.comより引用

＜排水ポンプの稼働＞



出典:国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージは国土交通省の対応や広域避難と交通サービスに着目して整理したものであり、時間軸の設定、対応の実態などについては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。